

# かほく市図書館 友の会だより

発行日 2018年11月25日

発行者 かほく市図書館友の会

〒929-1173 かほく市遠塚口57-6 かほく市立中央図書館内

## 第20号



## かほく市生涯学習フェスティバル 図書館まつり

# 第5回 わくわく紙しばいカーニバル

10月27日、紙しばいの会で検討し、例年より30分遅らせ、10時30分よりわくわく紙しばいカーニバルがスタートしました。

始まるのを今か今かと待ち望んでいる親子もいました。今年は、ポスターをかほく市内各こども園・保育園・幼稚園に掲示させていただいたこともあって、子どもの参加が出入り合わせて19人と過去最高人数でした。

手あそびから始まり、おだやかな雰囲気の中、プログラムが進むにつれ、演じる側もどんどんパフォーマンスがあがり、聞き手を紙しばいの世界に引き込んでいきました。

子どもたちも、楽しい紙しばいでは笑い声、考えさせられる演目では、静かにじっと舞台に見入っていました。

参加型・英語・季節にぴったりのハロウィン・手作り紙しばいなど、バラエティ豊かな演目だったので、参加して下さった方々にとっても、私たち演者にとっても、あっという間の楽しい1時間だったと思います。



タイムリーな「ハロウィンのかぼちゃ」



にっこり勢ぞろい

## 友の会の歩みパネル展示

「図書館まつり」の機会に“図書館友の会”を多くの市民のみなさんに知っていただきたいと、『友の会の歩み』と題して、友の会の行事写真（説明付き）と友の会だよりを掲示しました。

## 古本市

10月27日（土）・28日（日）の2日間にわたり、図書館主催の古本市に友の会として協力しました。

### プログラム

♪～ももたろうさん～♪

1. ゴリラのあかちゃんモモタロウ
2. おおきくおおきくおおきくなあれ
3. GROW GROW GROW BIGGER
4. おまんじゅうのすきなとのさま

♪～どんぐりころころ～♪

5. でんきちとどんぐり
6. だるまさんがころんだ
7. そんごうだいかつやく

♪～くまさんのおでかけ～♪

8. くまさんのぼうし
9. いつでも あえる
10. ハロウィンのかぼちゃ



友の会で開催した行事をパネルで紹介しました

# 第7回 図書館見学会 9月10日(月)

昨年11月に完成したばかりの

## 「学びの杜 ののいち カレード」へ!!



圧巻の高さ9メートルのブックタワー・米林監督原画の昇降幕にびっくり!

生涯学習課森さんの運転で、図書館から館長さんと丹羽さんにも同行していただき、総勢なんと30名で図書館見学会へ行ってきました。真新しい「学びの杜 ののいち カレード」は、市が整備・運営を株式会社に委託した、15万冊の蔵書をもつ立派な図書館です。

鉄筋コンクリート造り2階建てで、2機あるブックタワーは書架で、1階から天井まで達し、各1万5千冊収蔵できるとのこと。ゆとりあるスペースに新しい本がゆったりと並べられていました。

また児童図書コーナーにある昇降幕は、「借りぐらしのアリエッティ」などで有名な市出身米林宏昌氏が市の文化や史跡・人々を描き、イベント時には仕切りとして使われています。

県内ではまだ珍しい本の消毒をする機械や、電子版で読める全国紙、周りを取り巻く様々なスタジオ、グリーンのある壁やロッカーのあるホワイエなど、びっくりの連続でした。職員の方に丁寧に説明・案内していただき、感謝でいっぱいです。

見学の後は、「能加万菜：のうかばんざい」でランチ。その後北国街道沿いの「喜多家」(当主の軽妙な説明に笑い声も)と「郷土資料館」(お休みにも関わらず、私たちのために開館して下さいました)を見学をしました。古い時代が息づく町並みと、歴史のある家の構造・品々に理解が深まりました。

バス内で、かほく市消費生活グループ「ひだまり」にも属していらっしゃる会員から、悪徳商法にだまされない話をお聞きする等、時間も有効に使いました。



1万5千冊収蔵できるブックタワー

## ■参加者の声

津幡の西藤さん

かほく市のマイクロバスに乗り、目的地の野々市市立図書館「カレード」に着いた。

学びの杜「カレード」の意味は、万華鏡のように市民が集い、学び、交わり、輝きを増すにぎわいの拠点となるように…とのことである。

玄関にはいると、開放感のあるフロアと光を取り入れた明るさが目を惹いた。また、花壇と吹き抜けの光とのコントラストが美しく、リラックスして静かに本を読める環境がよい。さらに図書館の周りを取り囲むように、音楽スタジオをはじめキッチンスタジオ、創作スタジオがあり、その傍らに関係のあるDVDコーナーや音楽の本、料理の本、写真の本などが飾ってある。

2階の学習室も市民にとってはとても嬉しいスペースである。

今度は野々市バス「のっティ」に乗り、秋の夜長をカレードの書物と戯れ様々な作者や主人公に思いを馳せ、酒を酌み交わしながらみなさんと語り合いたいと思いました。



野々市市出身のアニメ監督 米林宏昌氏作画の昇降幕

第13回

# 友の会の集い



## 「月と惑星を知ろう!」～野外と天体望遠鏡で観察～

8月24日(金) 19:30～21:00 参加者32名

夜の開催となる今回の集いには、講師にかほく市星の会副会長の宮坂 均さんをお招きして、夏の夜空の楽しみ方を教えていただきました。

当日の日中は台風の影響で厚い雲が覆っていましたが、夕方には晴れ間が見え始め、雲間から星の輝きが見えた時にはほっとしました。

何はともあれ望遠鏡を覗きましょうということで、かほく市中央図書館4階の天体観測室(石川県で2番目に大きな天体望遠鏡があります)の中に入りました。中学生以下の子供たちも多数参加されて、ドームの中は満員で賑やかです。

まず、木星を順番に見ました。ガス惑星である木星とその周りを巡る4つのガリレオ衛星が見えました。次は土星。土星といえば環が有名ですが、年により環の角度の見え方が変わること、この環は殆ど氷できていることも知りました。

人工衛星が通過する時刻には、一旦屋上へ出て肉眼で夜空を眺め、小さな光の点がゆっくりと移動する様子や西の空の明るい金星を観察しました。

その後は、再びドームに戻り、天体望遠鏡で火星と月を観察しました。

図鑑ではなく実際に自分の目で見ると感動です。私たちの住む空には、宇宙が確かに広がっていることを実感しました。宮坂さんのわかりやすい解説もあり、参加した人たちは貴重な体験を楽しんでいました。

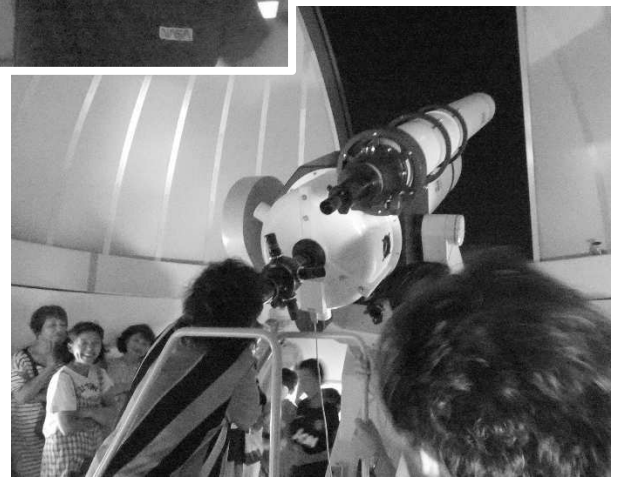


月のうさぎは見えるかな?



かほく市星の会副会長  
宮坂 均さん

立派な天体望遠鏡



### ■参加者の声

ぼくは、月を見てちょっとだけ、うさぎに見えました。そこが、月の海と分かりました。いろいろなわくせいをてんたいぼうえんきょうで見られて、ずかんをよむのがたのしくなりました。  
K.N (小3)

てんたいぼうえんきょうで もくせいをのぞいたら 4つえいせいがあるのがみえました。おつきさまのひょうめんが ぼこぼこしていてそうぞうとちがいました。おつきさまのなかにうさぎのもちつきがみられるとおもったのに、みえませんでした。  
A.N (小1)

月のうさぎはみえなかった。おつきさまはまぶしかつたよ。  
S.N (年中)

これまでは夜空の星を見上げるだけでしたが、こんなにたくさんの惑星がみられていたなんて思いもしませんでした。こどもたちが見にいらすとさそってくれたおかげです。土星の輪っかがみえたときには、こども以上に興奮しました。夏休みのよき思い出となりました。

K.N

# 友の会 談話室

かほく市立中央図書館長 中田 一朗さん

友の会の皆さんこんにちは。この4月から館長（兼雑用係）をしております中田です。図書館という新しい環境の中で、はや7か月以上が過ぎました。時々知り合いに、私のことを心配してか不安がってか、「図書館はどう？」と聞かれます。気にかけていただきありがたいことです。

図書館勤務になってよかったこと。まずは、昔懐かしい人たちと再び出会うことができたり、新たに知り合いになれたりした人が大勢いるということです。友の会の皆さんともそうですね。勤めていなければ絶対（たぶん）お話しする機会はなかったでしょう。読書カフェにも参加していますが、思った以上に楽しいです。これも新たな出会いです。

また、配架を1日に2、3回しますが、案外と頭を使います。「あ、か、さ、た、な…」。「933はどこ？」という感じです。初めは場所がわからなくて、心が折れそうになりましたが、今はほとんど覚ええました。しかし児童図書配架は数か月であきらめました。コストパフォーマンスが悪す

ぎて他の司書に迷惑がかかるとの判断からです（言い訳ですが）。

この配架という作業は、ボケ防止に少なからず効果があるような気がしています。さらに、下の方の棚に本を返すときは、なるべくひざを曲げてスクワットするようにすれば足の筋トレになるかも、とやってやっています。

本を読むことも増えました。恥ずかしながら、3月までは1冊も本を借りたことがありませんでした。図書館に入ったこともなかったぐらいです。改めて「読書っていいな。」と思っています。

先日、『本の読み方』で学力は決まる』という本を読みました。子どもの頃の読書は、学力に影響するということは聞いていましたが、膨大なデータを科学的に分析して分かりやすく説明してあり、「やっぱり！」と納得でした。また、幼児期の読み聞かせは、学力だけでなく、親子のコミュニケーションを深めることや人としての成長に大きく影響するということが書いてありました。最近、子どもにスマホなどを触らせておけば楽ちんと思う親もいるようですが、読み聞かせをしっかりやった方が後々の子育てがしやすくなることでした。読み聞かせのパワー恐るべしですね。

## 友の会活動予定

### ● リサイクル本収集

今後ともご寄付をよろしくお願いいたします！

かほく市立中央図書館 階段下のリサイクル本入れで常時受け付けております。

### ● 応援ボランティア

やってみたいと思う方はボランティアルームまでおこしてください。



【開催日時】

■ 第1・3・5週 14:00～15:30

■ 第2・4週 10:00～11:30

12月 4日(火)	12月 18日(火)
1月 15日(火)	1月 29日(火)
2月 5日(火)	2月 19日(火)
3月 5日(火)	3月 19日(火)

12月 11日(火)	
1月 8日(火)	1月 22日(火)
2月 26日(火)	
3月 12日(火)	3月 26日(火)

【作業内容】本の書架整理、汚れ落とし、修理などを行います。

### ● 古本朝市

【開催日時】2018年2月24日(日)

【会場】かほく市立中央図書館 2階

## 編集後記

近年のマイブームは落語。また、小さい頃から「笑点」の大喜利ファンでした。笑点は落語家さんたちの当意即妙なやり取りに感心し、面白さに笑いました。落語の寄席は生で聴くと、その迫力にグッときます。そして、語られる登場人物がちよっとおバカさんだったり、小難しい人だったり…現代だと、ちょっと引かれる人達。だけど落語の中では、とても愛嬌があるやりとりで、どの人も笑いで包んでくれる。そんな落語の世界が好きです。

先日、西田幾多郎哲学館ライトアップ寄席に行ってきました。桂まん我さんと桂米輝さんのお二人の演目をワクワクしながら会場のほぼ真ん中で聴きました。上方落語では、「時そば」ではなく「時うどん」なんですね。へえ～なるほど。演目の間には落語の楽しみ方も教えていただきました。得した気分。お二人の迫力と面白さに落語家の矜持を見たようで素敵でした。終演後、笑顔で帰宅しました。招待券を友の会会員に贈ってくださった、かほく市教育委員会さま、ありがとうございました。

現在の会員数 127名

入会のお申し込みは、中央図書館サービスカウンターにて随時受け付けております。